



透明な窓ガラスが発電します！



～磯子区総合庁舎で体験型の最新太陽光発電パネルの展示を開始～

横浜市では、2030年度の温室効果ガス排出量50%削減、2050年の脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて取り組んでいます。

磯子区内にはENEOS（株）根岸製油所があり、ENEOS（株）と磯子区は小学生を対象とした工場見学のバスツアーや広報よこはま磯子区版での脱炭素化取組紹介など、これまでも連携して事業を実施してきました。

このたび、ENEOSホールディングス（株）と磯子区で連携協定を締結し、同社から貸与を受けた透明な窓用太陽光発電パネル（以下、「発電パネル」という。）を磯子区総合庁舎に展示します。

本展示では、発電パネルに太陽光を当てる・遮ることで発電が開始・停止され、シャンデリアを動かしたり止めたりすることができます。次世代を担う子どもたちに発電の仕組みを実際に体験してもらうことで、再生可能エネルギーや脱炭素型のライフスタイルへの転換に興味・関心を持ってもらいます。

◆展示について

場 所：磯子区総合庁舎1階（横浜市磯子区磯子三丁目5番1号）

展示開始日：令和5年3月20日（月）

展 示 内 容：発電パネルの紹介、発電の仕組みの体験 等

発電パネルの概要：

開発企業	米国ユビキタスエナジー社
提供企業	ENEOSホールディングス（株）
開発状況	数年後の商品化に向けて開発中
機能・特徴	紫外線と赤外線をエネルギー源とする高効率の発電が可能であり、一般的な窓と同程度の透明度を維持しつつも、遮熱性と断熱性に優れていることから、建物の高いエネルギー効率を実現することができます。また、高層ビル等に活用できることから、広大な用地確保が不要であり、平置き型の太陽光発電と比較し、小さい敷地面積から多くの電力を生み出す可能性があります。



透明でも
発電できる！

発電パネル



発電した電気で
回転します

住宅の窓を
イメージ

展示の様子

【参考】連携協定について

協定名称：横浜市磯子区及びENEOSホールディングス株式会社との連携協定書

締 結 日：令和4年12月20日（火）

主な内容：次の事項について連携及び協力をする。

- ・ 発電パネルの展示に関すること
- ・ 脱炭素社会や再生可能エネルギーの普及啓発に関すること

お問合せ先

磯子区区政推進課長 金川 守 Tel 045-750-2330